

学校だより



八束っ子

「やさしく つよく かしこく」

八束小学校

検索 ←

<https://www.city.maniwa.lg.jp/site/yatsuka-es/>

真庭市立八束小学校
第14号
令和7年10月9日
校長 古山 直美 発行



「八束(蒜山)の宝を学ぶ」ご参観ありがとうございました

10月3日(金)の参観日ではお忙しい中ご参観くださりありがとうございました。それぞれの学年で蒜山のことについて学習しました。講師の方々も、今年はどんな話をしようかと担任と打ち合わせをし、授業準備をしてくださいました。授業後の講師の方からは「子どもとともに保護者の方も聴いてくださることにはとても意味がある。また、子どもたちも蒜山のことに関心が高く興味をもって聴いてくれたのでとてもよかった」と仰っていただきました。お忙しい中快く引き受けてくださった講師の皆様、参観してくださった保護者の皆様、大変ありがとうございました。

1年生 「ジャージー牛」
講師：中村 貢易さん



2年生 「蒜山の生き物」
講師：雪江 祥貴さん



3年生 「蒜山の農業」
講師：本守 竜二さん



4年生 「ジビエ」
講師：岡田 聖子さん



5年生 「山焼き」
講師：千布 拓生さん



6年生 「蒜山の歴史」
講師：前原 茂雄さん



「避難訓練」～不審者対応訓練～

9月24日に不審者対応訓練を実施しました。児童玄関から2階図工室に不審者が侵入したという想定で実施しました。児童は担任の指示に従って体育館に避難し、職員は不審者への初期対応を行うことを訓練で確認しました。また、下校時に知らない人から声をかけられたときの対応についても、「いかのおすし」の合言葉を再度確認しました。(あってはならないことですが、もしも学校に不審者が侵入し対応した場合は、児童の心の安定も考え、その後の授業を打ち切り引き渡しでの下校になります。お知りおきください。)

【児童】令和7年度 児童「よりよい八束小づくりアンケート」(7月)

		肯定群	否定群
1	じゅぎょうはわかりやすい	91.4%	8.6%
2	わたしは、じゅぎょうの中で、意見をつなぎ、やりとりすることで べんきょうが よくわかる	89.7%	10.3%
3	わたしは、じゅぎょう中、ペアやグループで話し合ったり、いっしょに活動したりしている。	90.5%	9.5%
4	わたしは、自分のすんでいる地いき(蒜山・真庭・岡山)が好きである	94.8%	5.2%
5	わたしは、学校いがいの人や地いきの人との学習は、役に立つと思う	89.7%	10.3%
6	わたしは、読書がすきである	79.3%	20.7%
7	わたしは、自分によいところがあると思う	74.1%	25.9%
8	わたしは、友だちのかんがえを 受け入れながら 話をきくことが できた	96.6%	3.4%
9	わたしは、学校でのできごとを家で話している	81.0%	19.0%
10	わたしは、学校や家、地いきで 気持ちのよいあいさつをしている	87.9%	12.1%
11	わたしは、学校生活がよりよくなるように考えて生活している	77.6%	22.4%
12	わたしは、すすんで 体を動かして、遊んだり運動したりしている	89.7%	10.3%
13	わたしは、メディア(ゲーム・ネット・テレビなど)の家でのやくそくを守っている	82.8%	17.2%
14	わたしは、毎日朝ごはんを食べて登校している	94.8%	5.2%
15	わたしは、早ね早おきをしている	75.0%	25.0%
16	わたしは、ルールやみんながつかう場所でのマナーを守っている	95.7%	4.3%
17	わたしは、わからないことやこまったことを先生にしつもんだり、そうだんしたりしやすい。	74.1%	25.9%
18	わたしは、学校がたのしい	86.2%	13.8%
19	わたしは、地いきの活動や行事にさんかしている	79.3%	20.7%

お知らせが遅くなりましたが、7月の児童アンケートの結果です。今回の結果から日々の教育活動における子どもたちのがんばりと、保護者の皆様のご支援が実を結んでいることが確認できました。「授業はわかりやすい」「ペアやグループで話し合ったり一緒に活動したりしている」では肯定回答が9割を超え、今年度重点的に取り組んでいる「学び合いのある授業」づくりの成果と考えます。また「すすんで 体を動かして、遊んだり運動したりしている」の項目では約9割の児童が肯定回答をしており、体を動かす活動にも前向きに取り組んでいることがわかります。ルールやマナーを守る規範意識も肯定回答が高く、ご家庭での励ましや声かけあつての成果だと思えます。とても落ち着いた学校生活を送ることができています。しかし、「自分にはよいところがある」「先生に質問したり相談したりしやすい」には否定回答した児童の割合が高く、今以上に児童のよいところをしっかりと見つけ、褒め、認め、子どもの気持ちに寄り添った対応をしていく必要があるとわかりました。今回のアンケートで成果と学校として力を入れていく点も明確になりました。「やさしく つよく かしく」の教育目標に向かって改善を図りながら取り組みを進めていきたいと思えます。



ペアで



グループで



チャレンジジョギングで体力づくり